



## 空家の現状調査結果のお知らせ

昨年11月に、各支部長・班長にご協力を頂き空家の実態調査を実施しましたが、その調査結果を取りまとめましたので概要をお知らせします。

この調査は、空家と思しき家屋の樹木や雑草の繁茂、家屋の劣化や破損を確認し、柏ビレジの住環境の維持改善に努めるとともに、防犯・防災上の観点からの対応を目的として実施したもので、今回は5回目の調査となりました。(1回目は平成26年度、2回目は平成28年度、3回目は平成29年度、4回目は平成30年度に実施されました。)

### 1 令和元年度における調査結果は次のとおりです。

#### (1) 空家戸数は47軒(空家率は2.98%)です。

昨年平成30年度調査では54軒(3.40%)でしたので、若干減少の傾向が見られます。参考までに、平成30年度の全国平均空家率は13.6%(1年以上の空家を基準とする。)であります。

#### (2) 樹木や雑草が繁茂した空き家は1軒ありました。

#### (3) 家屋の一部が劣化/破損している空き家は3軒見受けられました。

### 2 今回の調査結果から

(1) 令和元年度の新規空家は20軒ですが、新たに22軒の方々が柏ビレジに移転されて来られ、一定の割合で住民の入れ替わりが行われています。

(2) 樹木の繁茂や家屋の一部が劣化し廃墟化傾向の空き家はありませんでしたが、今後の調査において継続的に確認する必要がある空家は上記の4軒になります。

### 3 住民の皆様へのお願い及び自治会の取り組みについて

(1) 今後は更に高齢化が進む事により空家率が高くなる事が予測されます。諸般の事情により転居を余儀なくされるお宅には、必ず自治会に「退会届」を提出して頂く必要があります。また、隣家の方々並びに各班長は、転居されるお宅の連絡先等について出来る範囲で情報を得て頂くようお願い致します。

(2) 管理が十分行き届かなく3~4年放置された空家は、樹木や雑草が繁茂し家屋の外壁の剥がれや雨とよの垂れ下がりが等が発生している現状にあります。良好な住環境は、活力ある街づくり並びに防犯・防災上の観点から重要であり、今後の空家調査においても劣化の進む空家について継続的に確認を進めて参ります。

(3) 現在「未来まちづくり協議会」にて「建築協定」の見直しを主眼に未来に向けた活動を目差している所ではありますが、現に存在する空家の対策をどの様に何処まで踏み込んで実施できるかについても論議を進めてまいります。

(4) 柏ビレジは「第14回住まいのまちなみコンクール」において最優秀賞である国土交通大臣賞を受賞しております。この良好な住環境を維持するためには、住民の方々に更なるご理解と協力をお願いいたします。